

早稲田大学 商学部 日本史 講評

出題形式	マーク・記述併用
試験時間	60分
特徴・その他	大問数6題、小問数59問は例年通り。記述問題9問、選択問題49問(内訳は正誤判別26問・語句選択15問・年代配列1問・正誤組み合わせ3問・語句組み合わせ4問)、論述問題1問(80字)。2つ選ぶ形式は7問あった。時代別では古代・中世・近世・近代2題・戦後の計6題で固定されている。分野別では、2017年度は半分が外交史(次いで政治史)、2018年度は半分が政治史(次いで外交史)、2019年度・2020年度は7割が政治史、今年度は政治史と社会経済史で7割以上(次いで文化史)となっている。例年大問の2～3題が史料形式の問題。試験時間60分は適当であろう。

〔大問別講評〕

番号	出題内容	コメント	難易度
1	古代の税制	問A:3が正しい。他は遺跡と県名が合っていない。問B:4が正しい。1…盟神探湯ではなく禊や祓、2…5世紀の副葬品は武器や武具、3 亀ではなく鹿、5…銅鐸は古墳時代には用いられない。問C:1が正しい。2…労働力の代わりではない、3…女性の田地からも徴収される、4…年齢に関係なく徴収される、5…賤民にも口分田は班給される。問D:5が正しい。1…出挙は戸ごとに課税される、2…強制と任意が逆、3…地方財政である、4…義倉の説明。問E:2が誤り。兵役につく者は庸・雑徭は免除である。問F:5が誤り。公田の賃租は律令で規定されている。問G:3が正しい。1…班田収授とは無関係、2…改新の詔の説明、4…この事実はない、5…宇多天皇ではなく醍醐天皇。問H:4が正しい。1…受領は後任者を指す、2…在庁官人と目代が逆、3…通例は守、5…遙任は現地に赴任しない。問I:2が正しい。1…不入の権の説明、3・4・5…官物は租・庸・調・公出挙の系譜を引く、臨時雑役は本来力役。問J:1が正しい。『今昔物語集』	やや易
2	建武式目<史料>	問A:2が正解。「鎌倉」。問B:4が正解。「源頼朝」。問C:3が正解。「義時」。問D:3が正解。「佐々木道誉」は基本事項といてよい。問E:4が正しい。a 抑制ではなく盛んにする、d 夫役ではなく酒屋役・土倉役という営業税を提供。問F:1が正しい。2…建長寺船ではなく天龍寺船、3…南禅寺ではなく天龍寺、4…諸山は十刹の下、5…官寺を統括する僧侶が僧録。問G:5が正解。「綸旨」。問H:3が正しい。b 1339年→a 1352年→c 1371年。問I:3が誤り。娘ではなく妻。問J:2が正しい。Y…滞在費は明側が負担した。	標準

番号	出題内容	コメント	難易度
3	江戸時代の農村<史料>	問A：2が正しい。1…武家地・町人地も区分けされていた、3…江戸後期はむしろ江戸への流入が顕著になる、4…町人請負新田は18世紀以降盛んになった、5…家持以外の町人は町政に参加できなかった。問B：5が正解。「日用」。問C：1が正解。「無宿人」。問D：3が正しい。1…個人ではなく村単位、2…定免法と検見取法が逆、4…商人・職人なども含む、5…寄場組合などは村々が共同している。問E：4が正しい。「上田・下田」。初見史料の穴埋めなのでやや難。問F：1が正しい。2～5のような事実はない。問G：5が誤り。世直し一揆は貧農による一揆。問H：3が正解。「国訴」は合法的な訴訟闘争である。問I：2が正解。2…グローウニン事件は1811～13年。問J：4が正解。「自己責任だ」などとは書かれていない。	標準
4	明治時代の政治<史料>	問A：1が正しい。「伊藤」。史料Ⅰは第3次伊藤内閣から隈板内閣への移行の時期(1898年)のものである。問B：1・4が正しい。2…板垣は1875年にいったん政府に復帰している、3…矢野文雄らは大隈重信のブレーン、5…大同団結運動(1886～89年)は岐阜事件(1882年)のあと。問C：1・2が正しい。1・2…大政奉還は1867年10月14日の出来事。3～5…12月9日の王政復古の大号令による。問D：1・4が正しい。1・4…1898年の出来事。2・3…1900年、5の事実はない。問E：1・3が誤り。史料Ⅱは第1次伊藤博文内閣(1885～88年)についてのものである。1…黒田清隆内閣期、3…1884年の出来事なのでまだ内閣制度はない。やや難。問F：2・4が誤り。2…統帥権ではなく編制権の説明である、4…帷幄上奏権は陸海軍が行使する権利。問G…2・3が正しい。史料Ⅲは第2次伊藤内閣(1892～96年)についてのものである。1…最恵国待遇は廃止ではなく相互対等となった、4…尖閣諸島ではなく遼東半島、5…清国の朝鮮に対する宗主権が消滅したのみ。問H：2・5が正しい。2は中江兆民の、5は植木枝盛の著作である。やや難。問I：1が正しい。「日清戦争・内務大臣」。問J：4が正解。「吏党」。初見史料の穴埋めなのでやや難。	やや難
5	I 松形財政と産業革命 II 大正・昭和初期の文化	問A：5が誤り。貿易収支は好転しない。問B：4が正しい。1…銀行券発行権は日本銀行のみ、2…軍事費は削減しない、3…不換紙幣は処分する、5…日銀設立は1882年、銀行券発行は1885年。問C：5が誤り。小作人の家計は好転しない。問D：3が誤り。フランスではなくアメリカ。問E：1が正しい。「固定資本・低賃金・機械」。難問。問F：解答は「日本資本主義発達史」。やや難だが、定番の問題である。問G：解答は「野口英世」。問H：解答は「柳田国男」。問I：解答は「プロレタリア」。問J：解答は「日本美術」。問G～Jは基本問題が並んだ。	標準

番号	出題内容	コメント	難易度
6	I 高度経済成長 II 高度経済成長期の国民生活	問A:解答は「スエズ運河」。世界史範囲で難問。問B:解答は「なべ底」。やや難。問C:解答は「中流」。問D:解答は「三無主義」。なかなか珍しい記述問題。問E:4が誤り。1955年ではなく1951年。問F:2が誤り。石橋湛山ではなく岸信介。問G:解答を参照。問H:3が誤り。『飼育』は大江健三郎の著書。やや難。問I:5が正しい。やや難。	やや難

[総合コメント]

全体的な難易度は標準～やや難といったところ。全体の半分近くを占める正誤問題26問は、正文選択と誤文選択が混在しているため慎重に解く必要がある。特に2つ選ぶ形式7問は注意して読みたい。選択肢には瑣末な語句や説明も散見されるが、それらをすべて知っている必要はなく、消去法で解ける問題も多い。記述問題も一部に難問を含む場合もあるが、例年標準的なものが出題されている。論述の字数は今年度多めだったが(80字。2018年・2020年度が30字、2019年度が20字)、指定語句が5個あったので、昨年度より書きやすかった。さて本学部の対策であるが、教科書熟読により思わず高得点が狙えるだろう。